

第5章 計画を推進するために

1 市民の健康づくり活動への支援

本計画が目指す姿「市民一人ひとりがいつまでも心身ともに健康で過ごす」の実現にあたっては、市民一人ひとりの取り組み（自己管理能力形成）への支援を基本にしつつ、家庭や、地域が役割を担い、健康づくりに向けて一体となって取り組んでいくことが必要なため、それぞれの健康課題へ主体的に取り組むことへの支援を継続します。役割を担い、健康づくりに向けて一体となって取り組んでいくことが必要です。

具体的には、自治組織の健康づくり活動や「元気づくり会」「食生活改善推進員活動」などの地域や団体等が行う健康づくり活動を支援し、地域に応じた市民の健康づくり活動がさらに広まるよう取り組んでいきます。

2 関係機関との連携

市民一人ひとりの健康づくりを推進するためには、保健、医療、福祉、教育、企業、ボランティア団体などの関係機関・団体等が連携を強化し、健康づくりに取り組んでいく必要があります。

乳幼児期に生活習慣の基礎づくりがされ、若い世代で定着し継続できるよう幼稚園や保育園・認定こども園、学校をはじめとする教育機関との連携、また、専門的な支援を必要とする場合の医師会や歯科医師会、保健福祉事務所等との連携強化を図っていきます。

3 人材育成

市は、健康づくりを推進するための職員を確保・養成するとともに、その資質の向上に努めます。

また、食生活改善推進協議会や健康推進員など、地域で健康づくり活動を行う団体などと積極的に連携するとともに地域での健康づくりに努めます。